

# 速報

## 第69回中部日本高等学校演劇大会

12月25日(日)


～ 進め舞台の冒険者たちよ～

14校目

三重県総合文化センター・中ホール

上演作品名 ビート・ハイ  
 作者名 西野 勇仁

上演校  
 名古屋大谷高等学校



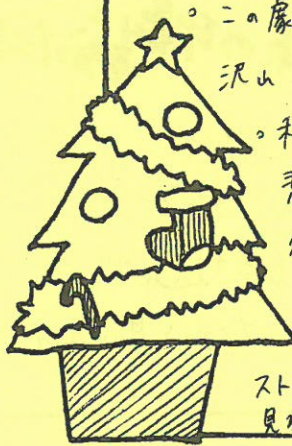

**感想ボードより**

最後のシーンの迫りに圧倒されました。

この劇を見て、今を楽しみ、青春を沢山しよう！と感じました。



私も3年生なので、卒業が悲しや、新しい環境に行きたい希望があり、とても共感しました。

個々のキャラが立っていてストーリーもとても良かった！見ました！

**速報係から**

明るくて輝かしい“青春”は一瞬で、最後があることを思い知らされた、複雑な気持ちになった。でも、そんな気持ちになったのは、とても楽しい“青春”を見せてもらったから。“青春”を思い出に前に進む姿勢に、「私も頑張ろう！」「今を楽しもうよ！」と思うような作品だった。

**幕間研究**


《舞台で終えて》

中部大会というこもあって、練習の時もたっただけなのに、さらに感極まり、ラストシーンで泣いてしまいました。青春をぶつけた気持ちで、頑張りました。

**楽屋インタビュー**

Q. 照明で変わったことはありますか？

A. 春夏秋冬で色を変えたり暗転を多用したり少しくしたりした。

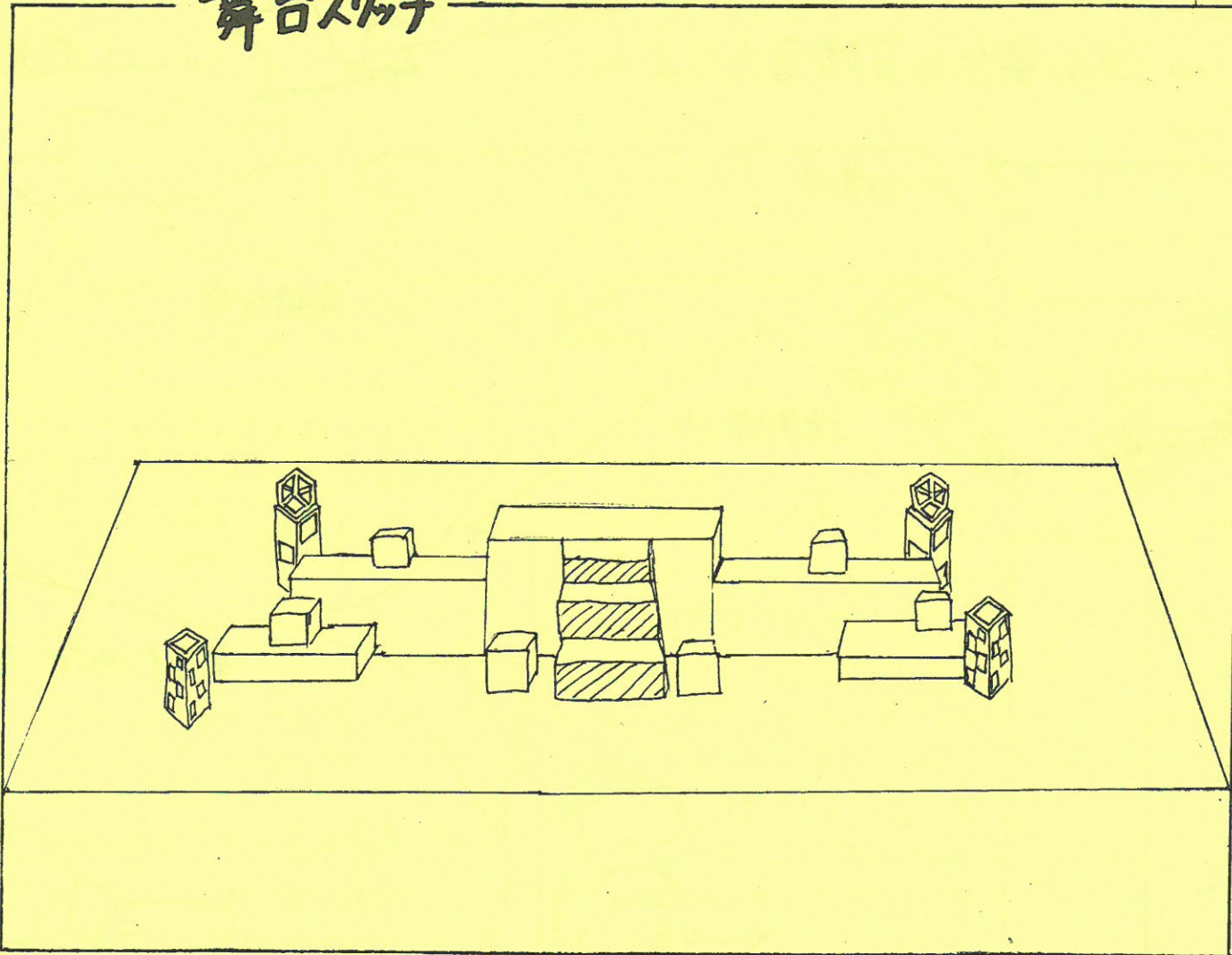


担当者: 布田愛理, 大野史規, 山崎 麗美

【名古屋大谷

】高等学校【愛知】県

# 舞台スナッチ



## ココを コトにわった!!

野球応援のシーン

お客さんをどう引き込みたいか、  
お客さんも一体になれるように、  
ということにこだわった。



## ココが 苦勞した!!

中部大会ではメインキャスト  
2人が変わってしまったため、  
舞台経験があまりないので、  
基礎から時間をかけたこと。



## ココが 速報係の印象を 残した!!

客席と一緒に  
応援するシーン。

客席も巻き込んでいて  
すごいなあ、と思いました。



◎速報担当 ➡

山崎 万奈美 (桑名西) 大野 史夏 (四日市) 布田 愛理 (桑名)